



旭に広げよう 手洗いの輪 ～インフルエンザ予防～

集団生活の場である学校は、人から人に感染する病気(感染症)が流行しやすい場所といえます。特にこれからの季節は、インフルエンザの流行が気になるところです。インフルエンザにかかると、子どもたちは出席停止となり、学校を休まなければなりません。また子どもたちから家庭に、さらに地域へと感染が拡大する恐れもあります。

インフルエンザやその他の病気を予防するには「早寝・早起き・朝ご飯」で生活習慣を整え、抵抗力を養っておくことが基本です。そして、水際でウイルスの侵入を防ぐための有効な手だてがあります。それは「手洗い・うがい」です。

手洗いについて、学校では「十分な手洗いが、必要なときにできる子」を目指して保健指導をしています。「ど

うして手洗いをする必要があるのか」「手洗いは、いつすればいいのか」「手の汚れを落とすには、どのように洗えばいいのか」など、手洗いの手順を学んだり、洗い残しを目で確認する実験をしたり、さまざまな工夫をしています。この学習がきっかけとなり、指導後しばらくは関心を持ち、熱心に手洗いをする子どもたちの姿が見られます。しかし、手洗いを継続させ習慣化させることはなかなか難しいものです。

そこで、家族の皆さんにお願いします。子どもが帰宅したらすぐに「手洗い、うがいはしたかな?」と声を掛けてください。また家族の人が、率先して「手洗い・うがい」を実践してください。家族で一緒のことをするのは、子どもたちにとって楽しいことです。家族との一体感が子どもたちのやる気を呼び起こし、継続する力の支えになることと思います。

手洗い・うがいの習慣の輪を、子どもたちから家庭や地域へ、ひいては旭市全体へ広げて、インフルエンザに立ち向かっていきたいものです。

【小学校養護教諭】